ツイッターQRコード

ホームページQRコード







幸手市議会議員 本田ようこ

幸手市香日向3-10-16 TEL 0480-43-8988 FAX 0480-77-4347

http://honda-yoko.com/



本田ようこ後援会

防災等の一般質問に対する内容です

福祉避難所は対象者の約1割しか収容できない

福祉避難所とは、一般の避難所では避難生活が困難な高齢者・障がい者・妊婦など、災害時に援護が必要な人たちに配慮した 市町村指定の避難施設。幸手市の現状は、民間が4ヶ所増え、合計7ヶ所となる。(本田の一般質問の成果) しかし、収容人数でいえば、対象者 4300 人のうち 334 人である。→(市) 福祉避難所数を増やす努力をしていく!

私は思う 対象者の皆さんも約1割しか収容できない現状を知り、先ずは自分で出来る「自分の命を守る備蓄」として用具や 薬等は必ず備蓄してください。

避難場所は近くでも、避難所が近くかは、その時でないとわからない。

避難場所は、災害発生時に一時的に避難する場所。小中学校・公民館・公園などのオープンスペース。避難所は、一定期間避難 生活を行う施設で、災害時に市が指定した施設。

→ (市)一時的に避難場所へ避難されても、他の場所にある避難所に移動していただく場合もある。

聴覚に障がいのある方は、防災メール配信の手続きをしないと情報が入らない。

市では、防災行政無線・防災防犯情報メール・ホームページ・テレフォンサービスでお知らせしている。 聴覚に障がいのある 方には文字情報として防災防犯情報メールがある。3月31日現在聴覚などの障がい者手帳を持っている方は148人。

→ (市)要避難支援者個別計画の概要を決定し、策定する中で検討して行きたい。

私は思う 障がいのある方もない方も、平等に情報を伝えるべきです。災害弱者をつくらないためにも。

自主防災組織、数年経てば補助金での備品購入に差がつき、地域の安全も

防災資機材購入金額に応じ、1年度に1回補助金が出る。事例として、防災倉庫・防災ヘルメット・ラジオ・防災用ベスト・ 発電機・コードリール・リヤカー・搬送用のタンカー・保温シート・着替え用テント・メガホン・トイレ・防水シート・調理 用の鍋や釜など。震災時の家屋の倒壊による生き埋めや閉じ込められた人の救助の多くは、自力や家族・隣人などの地域住民 に助けらた。つまり、迅速かつ地域に密着した対応が出来ることが、自主防災組織のメリットである。

→ (市)組織率100%となるよう区長会などを通して、自主防災組織に関する講話や職員が地域に赴き設立のお願いを積極 的に行い、早期に実現したい。

私は思う 自主防災組織のない地域に防災資機材はあるのでしょうか。例えば、生き埋めの人を助けるには、それなりの道具が 必要であり、地域で備えてあるのでしょうか。着実に備えている地域となにもない地域、時間が経ち、そろそろ差がで てきています。この組織は、市が作るものではなく、私たち自ら地域で作る組織です。

災害時に於けるアレルギーのある方の備蓄や対応は

市では、アルファー米、お粥、パン(たまごアレルギー対応)を備蓄している。各家庭でも対応した備蓄をお願いする。 また、ハチに刺されたり食物アレルギーなどによるアナフィラキシーに対する補助治療に使用されるエピペンなどの薬の備蓄 は市では出来ない

→ (市)各避難所で必要となる薬や医師派遣については協定を結ぶべきと考える。(以前の一般質問で本田が要望)現在、北葛北部 医師会や歯科医師会・薬剤師会と、意見交換・勉強会・連絡会などを行っており、早期に協定を締結していきたい。

・カスリーン台風のような水害時の圏央道への避難は無し

ほぼ一階が全滅というような水位の場合はどうする。

→ (市)問い合せしたところ、圏央道は自動車専用道路で、避難として人が入ることを想定していない。緊急の輸送道路に指定 されているので、そのような所への避難はご遠慮していただく。

私は思う 高い建物が少ない地域で、どこに避難すればよいのだろうか。市は、学校等の2階以上の建物に避難していただく というが、果たしてどのくらいの方が助かるのでしょうか。日頃から家族で話し合っておきましょう。私はボート が欲しくなりました。

今年の桜の時期には、また花火が見られそうですね(楽しみ)



避難生活に備えて

保存版

防災備蓄の必要性 災害は必ず来ます 備蓄を!! 食料はローリングストック法で

自治体などの避難所に十分な食料や備蓄品があると思ってはいけません -

阪神淡路大震災や東日本大震災・熊本地震など大きな災害が起きると、避難所では食料すら足りない状況が必ず起きています。 自治体の備蓄は補助的なものと考え、被災地以外からの支援を受けられるまでの数日間に必要な物は、すべてわが家で用意 しておくようにしましょう。

避難所やテント避難・自宅避難で過ごすために必要な物

水	飲料水 給水タンク・給水袋	救急品	常備薬・市販薬・消毒薬・マスク 救急箱
食料品	アルファ米やレトルト食品 缶詰(おかず類や甘味類など) 加熱なしの食品 栄養バランス食品・お菓子類	日用品	懐中電灯・乾電池・ランタン ライター・マッチ・使い捨てカイロ ガムテープ・ロープ・軍手
		情報品	モバイルバッテリー 電池式や手回し式のラジオ
調理品	カセットコンロ・燃料ボンベ やかん・鍋・缶切り・ナイフ アルミホイル・ラップ・まな板 調味料・ビニール手袋	衣類	季節に応じた衣類 下着類・使い捨ての紙下着等 レインコート
寝具	割り箸・スプーン・フォーク 毛布・アルミの断熱シート あれば簡易エアベッド(幼児・高齢者) 新聞紙(床に敷いて断熱) 冬季なら寝袋	清潔品	簡易トイレ・エタノールスプレー トイレットペーパー ティッシュペーパー・洗面・歯磨き 大型のビニール袋・ごみ袋 除菌用ウェットペーパー
女性	生理用品・化粧品など	高齢者	おかゆ等の柔らかい食品 処方薬・お薬手帳 メガネ・補聴器・入れ歯・杖 折りたたみイス・介護用おむつ
乳幼児	固形や粉のミルク・哺乳瓶 離乳食・おむつ・お尻ふき		
貴重品	家や車の鍵・通帳・カード・判子等	現金	10円等の小銭も必要(公衆電話)

あれば便利な物

- ・住居用テント(避難所に入れない場合はテント避難の可能性もあります)
- **簡易トイレ用テント** (トイレのプライバシーが守られ、着替えにも使用できます)
- ・コーヒー用の粉末クリーム(お湯で溶いて乾パンなどを入れると子供や老人でも食べられます)
- 大判のウェットスティックタオル (1 枚でほぼ全身を拭けます)
- ・**ヒートパック**(火を使わず水だけで蒸気を発生させ、ご飯や缶詰、ペットボトルなどを温められます)
- **ソーラーチャージャー**(太陽光でスマホやモバイルバッテリー、その他の機器の充電ができます)
- ・使い捨て哺乳瓶 (中のパックを替えるだけで煮沸消毒なしで 1 本で何回も使えます)

災害発生から3日を過ぎると生存率が著しく下がってしまうため、災害発生から3日間は人命救助が最優先になります。 道路の復旧や避難所への物資輸送はその後になるので、まずこの3日間を自力で乗り越えられるよう準備しましょう。 具体的な品物を挙げていますが、これはあくまでも例であり、それぞれのご家庭に合った備蓄品を用意しましょう。

防災用語

ローリングストック法 → 食料や飲料水などの備蓄品を定期的に使い、使った分を補充することで常に必要の一定量を保つ備蓄方法。 **通電火災 (転倒や漏電)** → 地震などの災害による停電の後、電気の復旧時に起こる火災のこと。避難する際には電気のブレーカーを落とす。

避難指示:緊急性(高) -----> ただちに避難行動をとる。時間的余裕がない場合は生命を守る最低限の行動をとる。

避難勧告:緊急性(中)→ 計画された避難場所等への避難を開始する。

避難準備:緊急性(低)→ 家族等の連絡、非常用持出品の用意等、避難準備する。



OFF